

協力

57



伝道団体連絡協議会

〒101-0062

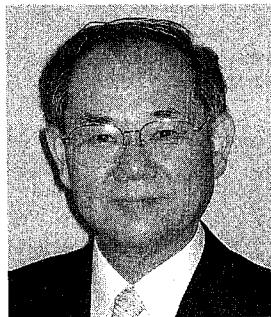
東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC 614号室

Tel. 03-3291-5035

www.gospeljapan.com/dd/

FRONT ESSAY

あらゆる所に 伝わっている



伝道団体連絡協議会 会長
姫井雅夫

主のことばが、あなたがたのところから出てマケドニヤとアカヤに響き渡つただけでなく、神に対するあなたがたの信仰はあらゆる所に伝わっているので、私たちは何も言わなくてよいほどです。（テサロニケ 1:8）

先日、ブラジル宣教から日本に戻ってこられた宣教師から、「日本の伝道は難しいのではありません。ただ時間がかかるだけです」と言われた言葉が心にかかっています。伝道するのが難しくないと言う国はないと思いますが、日本は仏教国だし神道や儒教など八百万の神々に、習慣も価値観も影響を受けているので、伝道するのは難しいのだと思いつ込んでしまいやすい私たちへの励ましの言葉でしょう。

確かに時間をかけながら、じっくりと伝道していけば、日本にも必ず大きな主の恵みのみ業を見せていただけると思います。現在奉仕をしている牧師の64%は60歳以上です。数年経つと退職される牧師がどっと出てくることでしょう。それに比べて、その穴埋めをする次世代の牧師の数はぐっと少ないのです。神学校は生徒の数が少なく、将来が心配です。

この課題の解決法は、伝道することです。クリスチヤンの数が増えれば献身する人の数も当然増えてくるはずです。牧師に何もかも期待し、伝道が進まないと嘆いてはいけません。テサロニケ教会の信徒は、あらゆる所に信仰を伝え、マケドニヤにアカヤにそのあかしは響き渡っていたのです。伝道団体に勤め、奉仕をしている私たちこそ、「信者の模範」（7節）となり、伝道に励もうではありませんか。所属する教会を通して、また勤めている伝道団体を通して、積極的に大胆に伝道しましょう。伝道団体は現代に適応する方策を模索し、実施しているのです。教会に方策を紹介し、資料を与え、教材や手段を提供しているのです。「あなたがたのところから出て」と書かれています。私たちのところから出て、日本中に、そしてアジアに神のみことばを響き渡るほどに伝道しようではありませんか。「あらゆる所に伝わって」いったという栄光を挙したいと思います。

文書が用いられ、電波が用いられ、学生が用いられ、ビジネスマンが用いられるように、各伝道団体の持ち味が遺憾なく発揮されることを祈ります。心を合わせ、手を取り合って伝道に励みましょう。日本の将来は明るいのです。アジアは私たちの目の前に広がっているのです。

MISSION Now

ミッショントナウ

このコーナーでは、
伝団協の加盟団体を
紹介していきます。



アメリカに本部のある Back To The Bible (バクトゥザバイブル) とTEAM宣教団の合弁による活動がスタートしています。名称はビー・ジャパン (BJAPAN)、OCC (お茶の水クリスチヤン・センター) 613に事務所があります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

<どうありたいか>

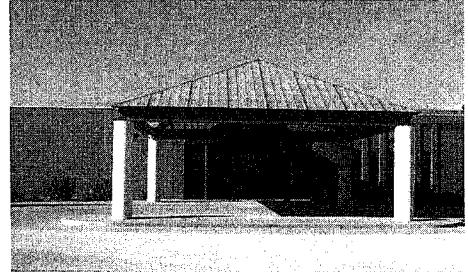
ビー・ジャパンは、“聖書に帰ろう！”を合言葉に、日本語を使う教会とクリスチヤンの『必要』に応じた支援を提供し、日本のキリスト教界の成長と活性化に貢献したいと願っています。

<こんな活動を目指しています>

ビー・ジャパンは、20年後の日本のキリスト教界を思い描いて活動します。そしてその活動は諸教会や専門団体との協業（コラボレーション）によって実現することを考えています。また、諸教会とクリスチヤンが持つておられる賜物をみんなで共有し分かち合う新しいシステム＝賜物ネットワークを構築してゆきます。

例えば、私どもの保有するメディアを利用して聖書メッセージ・証し・イベント・セミナーやシンポジウムなどのクリスチヤンライフに役立つコンテンツをお届けすることができます。また各種セミナーやシンポジウム、そしてイベントや集会の開催をお手伝いすることも計画しています。さらに、教会のニードに応じて、教職者や専門家を説教者や相談者として派遣することも視野に入れています。ビー・ジャパンは、クリスチヤンの皆さんのが持つておられる良き賜物をみんなで共有する場を提供するお手伝いをさせていただきたいと願っています。

それらを具体的にするステップとして、私たちはバイブルチームの結成に取り組みます。詳細はクリスチヤン新聞5月28日号をご覧ください。また5月28日より、24時間のインターネットラジオ放送を「賜物ネットワーク」構築のために、提供させていただきます。ぜひ、ビー・ジャパンのホームページにお立ち寄りください。



バクトゥザバイブルの本部



ビー・ジャパンのオフィス（東京）

<沿革>

1939年、アメリカ・ネブラスカ州で Epp 博士が Back To The Bible を設立。1987年、TEAM宣教師 S. Tygart が24時間放送フレンドシップラジオを設立。1993年、有線ラジオ放送 (USEN) で全国放送開始。2001年、CSデジタルラジオ放送 (USEN) で全国放送開始。2004年、Back To The Bible と TEAM の合弁により無限責任中間法人ビー・ジャパン設立。2006年、日本福音同盟 (JEA) に加盟。24時間インターネットラジオの運用開始。

<ビー・ジャパン理事会>

嵐 時雄 (日本同盟基督教団 国立キリスト教会牧師)
岩井基雄 (日本福音自由教会 清瀬福音自由教会牧師)
齊藤哲哉 (福音伝道教団 今市キリスト教会牧師)
玉井邦美 (日本同盟基督教団 新鎌ヶ谷聖書教会牧師、オアシス・チャーチ・ミニストリー代表、聖書宣教会講師)

<連絡先>

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-1 OCC 613
TEL: 03-3292-1073 FAX: 03-3292-1074
URL : <http://www.bjapan.jp> Mail : info@bjapan.jp

ライフミニストリーズは、昨年「アジアンアクセス」に名称を変更いたしました。その経緯を紹介させていただきます。

＜その始まりと展開＞

アメリカ人宣教師によって1967年に超教派宣教団体として設立されたのがライフミニストリーズでした。スクラム伝道などの英会話伝道を通して、全国の教会にお仕えするELIをはじめに、1980年代には、牧師研修を行う「日本教会成長研修所」、音楽伝道に取り組む「ソングライズ」、ゴルフ伝道の「フレンドシップゴルフ」など計5部門にわたる働きが起きました。現地化を進める意図もあり、各部門が独自の名称で理事会などを形成して働きを進めていました。その間、多岐にわたる働きのために、数百人におよぶ北米人サマーワーカーや短期宣教師、長期の宣教師を日本の諸教会に派遣してきました。

＜焦点を絞る＞

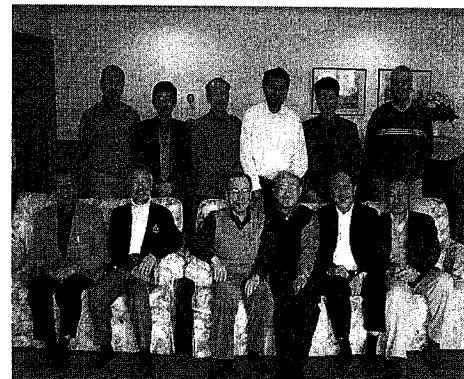
1990年代に入り、日米それぞれを取り巻く宣教事情、各部門の重複する事務の効率化などのために組織改革を行いました。主に託されたミッションを「日本の教会に協力して、健全な教会の成長と開拓に貢献する」と確認し、新たに始める働き、独立や他団体へ移行する働き、終了する働きなどを決断し、5部門を「リーダー養成」と「教会開拓」の2つの分野に絞って教会に仕えることができるよう改組しました。また、働きの現地化をさらに進めていくことになりました。

＜アジアへ＞

そのような中、新たなチャレンジを主より与えられました。アジアの複数の教会指導者から牧師研修を導入したいとの依頼があり、それぞれの文化に適応させて、リーダーシップ研修を立ち上げることになったのです。宣教師を送り込んで組織を立ち上げる形ではなく、パートナーシップによる支援協力という形で、働きを展開することになりました。1999年に開始したモンゴルを皮切りに、現在までにインド、スリランカ、ネパール、ミャンマー、カンボジアなど日本その他に7カ国で働きが始まりました。主の導きのもと最終的にアジア20カ国の諸教会に仕えさせていただくことを願っています。

＜名称変更と日本における働き＞

アジアへの展開を受け、また米国法人の名称変更もあり、日本でも「ライフミニストリーズ」から「アジアンアクセス」に法人名を変更しました。アジアでのリーダーシップ研修に協力しつつ、日本においては「日本教会成長研修所（JCGI）」を通して、健全な教会形成をめざす全国5地区にわたる牧師研修やフォーラム、複数の教会がそれぞれ教会開拓に取り組む教会開拓ネットワークなどの働きで日本の教会に仕えさせていただいております。



スタッフ一同

Click here to give to AsianAccess now!

AsianAccess

Ministry Focus
Opportunities for Involvement
About the Organization
Short-term Missions

OTHER FEATURES

- How This Works
- A Journey
- Podcast
- Video

On What This Process Stopped Up...
Part 2 After Invoiced: When We Arrive...
Tamil Tigers didn't early talk... more...

総合ウェブサイト
<http://www.asianaccess.org/>



News Flash 加盟団体の近況報告・祈りの課題など

ニュースフラッシュ

いのちのことば社

8月出版予定の、日野原重明・星野富弘両氏の対談本のために。すべてのスケジュールが守られますように。この本が豊かに用いられ、福音の種まきとなりますように。

高校生聖書伝道協会（Hi-b.a.）

4月に宗教法人代表役員が吉枝隆邦から中台孝雄に交代しました。6月には「レッツビー・フレンズ」という大きな伝道活動を各地で展開します。7～8月は夏キャンプです。

国際ナビゲーター

6月から2か月間、サマー・インパクト・ジャパンという米国からの宣教チームを招いた学生宣教を首都圏等で行います。30名くらいの働き人による伝道で、豊かな実が残されますように。

J T J 宣教神学校

今の日本に、何よりも求められているのは、“愛”です。戦後間もない頃の、貧しくとも“愛”的ある人間関係が、再び戻ってきますように、私たちを助け導いてください。

全日本リバイバルミッション

9月28日(木)～10月1日(日)まで、香川県の宇多津町において「四国リバイバルミッション2006」を行います。多くの方々が救われ、各教会も祝福されるようにお祈りください。

総動員伝道

- ・6月19～29日、サッカーW杯伝道のためにドイツに出かけます。
- ・7月27～28日、三重県鈴鹿市で全戸訪問トラクト配布伝道を行います。

太平洋放送協会（PBA）

PBAの今年のテーマは『より身近に』です。「世の光」、「ライフ・ライン」が一人でも多くの方に見られ、聞かれ、知られ、用いられる事を願っています。ぜひ、見て、聞いて、用いてください。

小さなのちを守る会

全世界に福音を！主の宣教命令とキリスト者としての社会的使命と責任を重く受け止め、いのちと乱れきった性の秩序回復のために孤軍奮闘中!! 祈りの援軍を切にお願い中!

●上記以外の加盟団体

アジアンアクセス
いのちの水・計画
お茶の水クリスチャン・センター
教会インフォメーションサービス
キリスト者学生会
近畿福音放送伝道協力会

日本キャンパス・クルセード・フォー・クリスト

「ダ・ヴィンチ・コード」関連のウェブサイト、ワールドカップ伝道用のCD-ROM、およびDVDの制作、キャンパスには、海外からいくつかの宣教チームが来日、伝道に励みます。

日本キリスト伝道会

今年度の夏期キャラバン伝道は、徳島・高知両県(8月1日～7日)。第38回日本伝道の幻を語る会は、「いよいよ始まるリバイバルの幻パート6」と題して、8月21日から23日に開催。乞加祷。

日本伝道者協力会

8月28～30日、リトリートと総会をいたします。ソフトタッチの説教になりがちな現代に、鋭く切り込んでいく十字架のメッセージを語るべきではないかと話し合っています。

日本ミッション

もともと、結核を病む人を中心に病床伝道を使命としていた団体です。今は日本が病んでいると思える時代。ネット・文書・英語教室・結婚式司式等によって福音による救いを伝えています。

ハーベスト・タイム・ミニストリーズ

時代の変化のスピードがますます速くなっています。時代の要請に応える働きを進めたいと思っています。今計画中のインターネットTVが、大いに伝道に用いられますように。

ビー・ジャパン

ようやく動き始めたビー・ジャパンですが、まず最初にご提供させていただくのは、無料のインターネットラジオ放送です。詳細はホームページをご覧ください。

光のミッション

呼びかけに応じて使用済みカセットテープを送ってくださる方があります。小さいことに見えますが、大きな働きに発展する可能性を含んでいます。次のステップへの導きを祈ってください。

福音主義医療関係者協議会

諸活動のためお祈りを。EMF 医科系聖研合同キャンプ：8/14～17 於大阪。国外研修：8/19～29 於フィリピン。シンポジウム「緩和医療」：10/28 於富山。

クリスチャン文書伝道団(CLC)

こころの友伝道全国連合会

新生宣教団

日本キリスト宣教会

日本国際飢餓対策機構

日本聖書協会

パラビジョン

ブリッジ・フォー・ピース・ジャパン

マザーズ・カウンセリング・センター

ミクタム・レコード

ワールド・ビジョン・ジャパン

<五十音順 以上33団体>

『協力』57号

発行日：2006年6月1日

発行所：伝道団体連絡協議会 郵便番号101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル 614号室

TEL.03-3291-5035 FAX.03-3291-5266 www.gospeljapan.com/dd/ sodoin@ybb.ne.jp

発行者：姫井雅夫